

銀河の星

先日、ネットであるドラマを観ました。登場人物のセリフに宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」の一節が出てきました。その一節は「このぼんやりと白い銀河を大きないい望遠鏡で見ますと、もうたくさんの小さな星に見えるのです」と言うものです。ドラマの中では、ひと塊りで扱われる銀河の中の一つ一つの星（であるあなた）を大切にしたい、「だからあなたも輝いて」と言うメッセージが込められているのです。そして、もう一つ、心に残っているのは「“綺麗ごと”ではなく“綺麗なこと”」と言うセリフです。いろいろな経験をする、自分の中にある純粋な美しい思いを、「どうせ”綺麗ごと”」と自ら揶揄してしまうことを学んでしまいます。それは思い通りにならない日々を生きのびる知恵かもしれませんが、でも、やっぱり、無くしてしまいたくはないと思うのです。純粋な美しい思いと輝きを。今夜あたり、あなたも空の星を見上げてみませんか？